

子どもの姿

5歳児がつくったゲームボックスやエス棒などの用具を使ったコースで遊んでいたA君。

翌日、園庭を見たA君は、自分でコースをつくらうと用具置き場へ行き、ゲームボックスを運び始めました。そこへB君がやってきて、「これに乗せて運ぼう」と手押し車にゲームボックスを乗せ二人で運び始めました。他の友達が友達と数人で運んでいる様子を見たA君は「ぼくももっと運ぼう」と、友達と一緒に持ち上げて運んだり、一人で運んだりして何度も用具置き場からコースまでを往復していました。ビールケースやエス棒なども次々運んで来ては、並べています。「長くなってきたね」と保育者が声をかけるとA君はコースを見て「うん!」と嬉しそうに答え、並べたコースの上を歩いたり、くぐったりし、用具を並べ替えたり整えたりしながら遊んでいました。

保育者の思い

昨日と同様、ゲームボックスの下に人工芝のシートを敷いておくと、コースをつくる目印になるかもしれない。自分達で好きなコースをつくって遊んでほしい。

用具置き場にある使えるものをいろいろな方法で運ぶことも友達と一緒に楽しんでほしい。

たくさんの用具が繋がってくると、ワクワクしてきたぞ。自分達で運んで繋げたコースに挑戦したり、自由にコースをつくったりして遊ぶ楽しさを味わってほしい。



どうやって進もうかな?



よいしょ!
よいしょ!!



これに乗せて運ぼう!

子どもの育ちや学び

友達のしていることに興味をもち真似したり、友達のことを意識したりしながら運んだり、遊んだりしています。

友達と一緒に運ぶことで自然と「よいしょ、よいしょ」と声が上がったりするなど、同じ場や同じ行動で楽しさを味わっています。

コースが出来上がっていくと、目に見える変化が面白く、「もっとやりたい」「できた!」という、子ども達の達成感や満足感などの心の動きに繋がったと思います。

家庭だったら

子どもがやってみたいと思うことを、一緒にすることで子どもの気持ちが分かったり、子どもがやっていることを見守ることで、自由な発想や方法で挑戦する子どもの姿を見ることができたりします。タイミングや距離感は難しいものですが、子どもの思いに触れた時は嬉しくなりますね。